

義務教育9年間のスタートからゴールまでを見据えた「主体的に学び続ける力を育てる」家庭学習を促進する取組

～和水町立菊水小学校・菊水中学校～

「家庭学習指導計画」を全ての児童生徒に配付し、学校と家庭が協力しながら家庭学習の充実を図っている。

9年間のゴールの設定「家庭学習で主体的に学び続ける力を育てる」菊水中学校区指導計画

	時間目標	主な学習内容	家庭での関わり方	先生の関わり方
充実・発展期	150分 進路実現のために学力を！	8年にプラス 入試問題を毎日3問以上解く	自主学習ノートの内容によってより効果的な関わりを願います。	○入試問題を準備し、自分に合った進路実現のための学力を育てます。 ○工夫している自立ノートを紹介し、自分のノートに活かせるよう取り組みます。
中学3年	120分 苦手な問題に挑戦！	7年にプラス 入試問題を毎日1問以上解く	① お子さんが頑張っているのを知っていることを伝えてあげてください。 ② 1週間に1度は、自主学習ノートをチェックしてください。丁寧な字で、最後までやっているか確認し、やりきれそうな声掛けをお願いします。評価も忘れずに。	○既習事項で解ける入試問題を準備し、自分に合った課題に対応できる学力を育てます。 ○工夫している自立ノートを紹介し、自分のノートに活かせるよう取り組みます。
中学2年	90分 苦手な問題に挑戦！	6年にプラス 予習教科書を読みわからないところを調べる等 復習ノートやワークで大切なところを確認	※問題も答えだけでなく、考え方や途中の式等も書くようにアドバイスしてください。考える力が伸びます。	○英語、数学については、毎授業時間の予習と復習を行うよう指導します。 ○入試に対応できる丁寧な文字で書くよう指導します。 ○工夫している自立ノートを紹介し、自分のノートに活かせるよう取り組みます。
習熟・持続期	60分以上+ 10分以上読書 苦手なところを克服！	5年にプラス 間違えたところを苦手なところを何度も解いて身に付ける		○授業中に既習内容を取り入れ、苦手なところを復習できる機会を増やします。 ○苦手な問題に取り組んでいることをしっかりと評価し、わかるまで考える粘り強さを育てます。 ○苦手な克服した児童を紹介し、みんなで勉強方法を共有します。 ○苦手をなくすことで、学習面の中1ギャップを解消します。
中学1年	50分以上+ 10分以上読書 興味のあることや苦手な問題に挑戦！	4年にプラス 間違えや苦手なところの問題と答えを3回ずつ書く		
小学6年	40分以上+ 10分以上読書 自主学習名人になろう	3年にプラス 翌日の授業内容から一つ調べ学習をする	・わからない漢字等があるときは、線を引いておくようアドバイスしてください。翌日の授業で習ったときに定着しやすくなります。 ・言葉調べは、辞書を引くよう声をかけてください。 ・調べ学習では、「〇〇ってなあに？」と一つだけ質問してあげるのも手助けとなります。 ・きちんとできたら、自主学習ノートにサインをして、頑張ったことをほめてください。	○第4学年から、工夫されているノートを第3.4学年に紹介します。どんな自主学習をすればよいかをお互いに学べる取り組みをします。 ○言葉調べや調べ学習の内容を日々の授業に活用します。
基礎・基本期	30分以上+ 10分以上読書 自主学習にちょう戦	2年にプラス 翌日の授業の本読みと言葉調べをする		
小学3年	25分以上+ 10分以上読書 ならったことをもう一度	1年にプラス 授業中にやった問題をもう一度やる	・勉強の始めと終わりの時間を確認しましょう。時間いっぱい学習する習慣をつけてあげてください。 ・今日学校で勉強したことについて、きいてあげてください。	○必ずやりきらせる指導をします。 ○がんばったことは、しっかりと評価します。 ○工夫しているノートをクラスで紹介します。
小学2年	20分以上+ 10分以上読書 しゅくだいをやりきろう	「ほんぶみ・どくしょ」を毎日する	・きちんとできたら連絡帳にサインをしてください。 ・がんばったことをほめてください。	
小学1年				

「時間目標」と「主な学習内容」については、発達段階に合わせ、各学年で検討し設定しています。また、「前学年にプラス」を設定することで、より充実した内容になるようにしています。

「家庭での関わり方」「先生の関わり方」を明示することで、保護者への家庭学習に対する関心と意識の高揚を図りながら、家庭と学校が協力して取り組んでいくという姿勢を大事にして取り組んでいます。

9年間の系統立てた取組により、見通しをもって、主体的に学び続ける力の育成につながっています。

家庭学習のめあてを設定した「家庭学習のてびき」による学習環境の整備および自主的、計画的な学習を目指す取組

～山鹿市立三岳小学校～

「がんばれ！三岳っ子 家庭学習の手引き」を活用し、学習に向かう態度を養うとともに、発達段階に応じた学習の仕方や留意点を子供・学校・家庭が共通理解し、自主的、計画的な学習を目指して、学校総体として取り組んでいる。

がんばれ！三岳っ子！
かてい学しゅうのてびき
1・2年

かてい学しゅうのめあて
「いまでも べんきょうを がんばるぞ」
のきもちをもって、きめられたことは
まいにち かならず ていねいにしましょう。

学しゅうじかんのめやす
1ねんせい 20分じょう
2ねんせい 30分じょう

★ かてい学しゅうをはじめるまえに・・・

- ① べんきょうをはじめるじく・おわるじくをきめましょう。
- ② いつもきまったばしょで、べんきょうしましょう。
- ③ べんきょうするばしょ（つくえの上やまわり）をきちんとかたづけましょう。
- ④ テレビやゲーム、けししましょう。

さあ、べんきょうをはじめよう！！

① まず、きめられたしゅくだいをきちんとおわらせる。

○おんどく

- ・ゆっくり、はっきり、きもちをこめて、すらすらとよめるように
- ・うちの人に貸してもらって、サインをもらう。

○かん字、けいさん、プリント、にっき など

- ・えんぴつのもちかたにきをつけて、せすじをばして、ただしいしでかく。もじは、かきじゅんにきをつけて、ていねいにかくこと。
- ・なうたかん字はつかう。おわったらかならず、見なおす。

② 「すずんでべんきょう」にも、とりくむ。

べんきょうのめやす
1ねんせい 20分じょう
2ねんせい 30分じょう

- ・きょう べんきょうしたところを もういちど よんだり、だいじなことを ノートにいかたりする。
- ・ひらがなやかたかな、かんじ、たしざん、ひきざん、かけざん九九などをくわえててんでんどもれんしゅうする。
- ・しやをする。（文しやをうつす。）

★ 学しゅうがおわったら・・・

- ① べんきょうしたものを、おうちのひとにみてもらう。
- ② あしたのじゅんぴをする。
 - ・じかんわりをみて、もっていくものをよいする。
 - ・えんぴつをけすって、ぶではこにきをつけて、ていねいにかくこと。

（けすったえんぴつ5～6本、けしゴム、じょうぎ、あかえんぴつ1本）、ネームペン

がんばれ！三岳っ子！
家庭学習のてびき
3・4年

家庭学習のめあて
きちんと学習の時間を決めて、ていねいに
とりくみ、しゅくだいのほかに自分でできる
ことを考えて、進んでやってみましょう。

学習のめやす
3年生・・・40分以上
4年生・・・50分以上

★ 家庭学習を始める前に・・・

- ① 勉強を始める時く・おわる時くを決めましょう。
- ② 勉強する場所（つくえの上やまわり）をきちんとかたづけましょう。
- ③ テレビやゲーム、音楽はスイッチを切りましょう。
- ④ れんらくちょうを見て、学校からのしゅくだいをたしかめましょう。

さあ、勉強スタート！！

① まず、決められたしゅくだいをきちんとおわらせる。

○音読…正しく、はっきり、気持ちをこめて、すらすらと読めるように
○漢字、計算、プリント、日記、ノートのしあげなど
文字はていねいに、買った漢字は使う。ノートは学校で決められた使い方をまもって
使う。おわったら、かならず見直すようにする。

② 「進んで勉強」に取り組む。

・学校で勉強したところをもう一度読んだり、大切なことをノートにまと
めたりする。（復習）
・学校の勉強でまちがえた問題や、よくわからなかった問題を、もう一度
やりなおす。（復習）
・学校で勉強したことをもとにして、もっとくわしく調べたり、むずかしい
問題にチャレンジしたりする。（発展）
・漢字や計算などを、時間や回数を決めてノートにれん習する。
・新しく習う漢字の読みや言葉の意味調べをする。
・家庭学習メニューから選んで、にがてな勉強にちょうせんし
たり、とくいなことをばしたりする。
他にもいろいろ自分で考えてみましょう

★ 勉強が終わったら・・・

- ① 学習したものを、お家の人に見てもらう。
- ② 明日のじゅんぴをする。
 - ・時間割を見て、ひつような物をたしかめる。
 - ・持っていく物、筆箱を用意する。
 - ・けすったえんぴつ5～6本、消しゴム、じょうぎ
赤えんぴつ1本、ネームペン
- ③ 勉強した場所をきちんと整える。

がんばれ！三岳っ子！
家庭学習のてびき
5・6年

家庭学習のめあて
決められた課題はていねいに仕上げ、その他
に「今必要なこと」「自分に必要なこと」を考え
計画的に進めていきましょう。

学習時間のめやす
60分以上

★ 家庭学習を始める前に・・・

- ① きょうの勉強の開始時刻・終了予定時刻を確認しましょう。
- ② 勉強する場所（机の上やまわり）をきちんとかたづけましょう。
- ③ テレビやゲーム、音楽はスイッチを切りましょう。
- ④ 連絡帳を見て、学校からの課題を確認しましょう。

さあ、勉強スタート！！

① まず、決められた課題（宿題など）をきちんとおわらせる。

○音読…正しく、はっきり、気持ちをこめて、すらすらと読めるように
○漢字、計算、プリント、日記、ノートの仕上げなど
文字はていねいに、買った漢字は使う。ノートは学校で決められた使い方を守って
使う。終わったら、かならず見直すようにする。

② 進んで勉強に取り組む。

・学校で勉強したところをもう一度読んだり、大切なことをノート
にまとめたりする。（復習）
・学校の勉強でまちがえた問題や、難しかった問題を、もう一度や
り直してみる。（復習）
・学校で勉強したことをもとにして、もっとくわしく調べたり
難しい問題にチャレンジしたりする。（発展）
・次の時間に勉強するところを読み、わからなところ
に印をつけておく。（予習）
・漢字や計算などを、時間や回数を決めてできるだけ速く
正確にできるように練習する。
・苦手な勉強も得意な勉強も自分で計画を立てて取り組む。
他にもいろいろ自分で考えてみましょう

★ 勉強が終わったら・・・

- ① 学習したものを、お家の人に見てもらう。
- ② 明日の準備をする。
 - ・時間割チェック
 - ・持っていく物、筆箱の中身（けすったえんぴつ5本以上、
消しゴム、じょうぎ、赤ペン1本、蛍光ペン1本）チェック
- ③ 勉強した場所をきちんと整える。

「家庭学習のてびき」では、発達段階に応じためあてを明らかにし、自主的で計画的な学習習慣の育成を目指します。

また、学習時間も発達段階を考慮し設定します。「学習を始める前に」や「学習が終わったら」等の項目では、学習環境を整えることについても示しています。

字を丁寧に書くこと、見直すことなどについても、全員で共通実践ができるようにしています。

手引きを活用することで、学習内容の確認や学校が目指す学習態度等について家庭と共通理解ができ、連携した家庭学習の取組になっています。

家庭と連携し、児童の家庭学習の充実と習慣化を図る取組
～津奈木町立津奈木小学校～

学年ごとに「家庭学習の手引き」を、低学年・中学年・高学年ごとに「家庭学習（自学ノート）6つの約束」を作成し活用している。

6年生 家庭学習の手引き



津奈木町立津奈木小学校

毎日の学習の時間(70分)以上 宿題 + 自主学習

1 家庭学習の目的

学年×10+10分

- (1) 学校で学んだことを確実に定着させます。
- (2) 自主ノートを作成することで、「自主学習の習慣」をつけます。
- (3) 返った時間に家庭学習することで、「生活のリズム」を整えます。

2 家庭学習をする時の約束

- (1) 決まった時間にやるようにしましょう。
- (2) テレビをつけずに、集中した環境でしましょう。
- (3) ていねいな字で書きましょう。
- (4) 日記は、習った漢字を使いましょう。
- (5) れつづけ及びまちがい直しまで、しっかりしましょう。
- (6) 学習したものは、お家の人に見せましょう。



3 學習內容

☆基本の家庭学習(4点セット)

- ① 漢字スキル・漢字/ノート・計算の学習など
- ② 算数のプリント(国語、社会、理科の時もあります)
- ③ 音読(教科書で習っているところなど)
- ④ ^{7分2} チャレンジタイム!! 自分で考えて頑張る

4 6年生の自学メニュー（例）

国語：漢字練習、熟語で短文づくり、辞書で調べる、日記、作文
算数：探検の復習、計算問題、問題づくり
理科：ノートをまとめる、図鑑を読む、身近な動植物の観察日記
社会：自分の住んでいる村や地域、県のことを調べる、歴史を学ぶ

5 自学6つの約束！

- ☐ ①「日付」や「取り組む内容」を書きましょう。
- ☐ ②取り組んだ時間を書きましょう。
- ☐ ③めあて・ふりかえり(一言感想)を書きましょう。
- ☐ ④ながら(テレビなど)勉強は しません。
- ☐ ⑤お家の人に確認してもらいましょう。
- ☐ ⑥宿題以外の勉強にチャレンジします。

おつのことをチェックして、
お軍の人からノートの
右下にサインをもらおう！



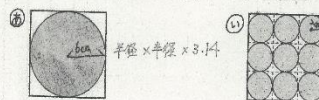
津奈木小学校（高学年用）

家庭学習（自学ノート）6つの約束

- ☐ ①日付を書きましょう。
- ☐ ②取り組んだ時間を書きましょう。
- ☐ ③めあて・ふいかえり(一言感想^{かんそう})を書きましょう。
- ☐ ④ながら(テレビなど)勉強^{べんきょう}はしません。
- ☐ ⑤お家の人^{かくにん}に確認してもらい、サインをもらいましょう。(ノ・ト右下に)
- ☐ ⑥宿題以外に学習をしよう。

- ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑥正方形①の小さい正方形の内側すべてに、びっぴり
貼付をきか加えました。このとき、「矢張り円の面積」と
同じな円の面積の合計には、どのような関係になっ
ていますが、下のアからウまでの平から「つ選んで、
その記号をききましよう。すな、そのようになる理
由をそれぞれの面積を実際に求めて確かめよう。



ア 大きな円の面積は小さな円の面積の合計より大きい。
イ 大きな円の面積は小さな円の面積の合計より小さい。
ウ 大きな円の面積と小さな円の面積の合計は等しい。

大きな円の面積」と小さな円の面積の合計の関係を表している記号は(ア)	
大きな円の面積	小さな円の面積の合計
$6 \times 6 \times 3.14 = 113.04$	$2 \times 2 \times 3.14 \times 9 = 113.04$
答え 113.04 cm^2	答え 113.04 cm^2

- ③ 一度まちがえた面積の問題が、いけるようにした。

6つのことをチェックして
お家の人から サインをもらおう！

「家庭学習の手引き」を作成し、活用することで、家庭と連携しながら児童の家庭学習の充実と習慣化を図っています。

自主学習に取り組む時のきまりを「家庭学習6つの約束」と称し、低・中・高学年ごとに校内で統一し、実践することで、児童の主体的な学びにつなげられるようにしています。

「家庭学習の手引き」及び「自主学習の効果と自主学習ノートの良い例」を表裏でラミネートして全校児童に配付し、いつでも活用できるようにし、自分で計画を立てて学習できるようにしています。

第5章

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈学校編〉】実践例

家庭と学校が連携して、様々な角度から家庭学習へのアプローチを図ることによる、計画的な学習の習慣化に向けた取組

～人吉市立第二中学校～

学校総体として、帰りの会で授業と家庭学習との接続、計画表の作成と教育相談、家庭でのチェックと学校でのチェックに継続して取り組み、家庭学習の習慣化を図っている。

Gプロジェクト4.0

実施中

期末テスト

6月9日(水)～11日(金)

学習計画表が配付されていますので、ご家庭でも確認と励ましをお願いします。

がんばろう二中!



学校通信でお知らせとお願い

テスト勉強計画表&実践記録【1週目】

四道番号: ○○○○

氏名: ○○ ○○

◆上の段…学習する予定の内容番号と時間、下の段…実際に学習した内容番号と時間(10分ごとに記入)

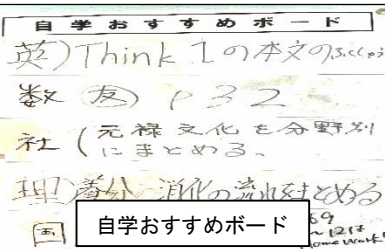
◆各教科の学習計画の合計時間を見て、見直しを持ってテスト勉強を進めよう。

◆平日120分以上、土日240分以上を目安に計画を立てよう。宿題や塾、教育相談中の自習時間も含めていいです。

例	国語
計画	① 60
実践	① 90

日	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	技術	家庭	体育	合計	保護者	担任
9 計画	1:20	1:60	1:40	1:20							140	A B C	サイ
月 実践	1:40	1:60	1:40	1:20							160	A B C	サイ
10 計画	1:30	1:60		1:30							120	A B C	サイ
火 実践	1:30	1:60		1:60							150	A B C	サイ
11 計画	1:40	1:60			1:30		1:30				160	A B C	サイ
水 実践	1:50	1:60	1:10		1:30		1:30				180	A B C	サイ
12 計画		1:20	1:60					1:40			120	A B C	サイ
木 実践		1:20	1:40		1:10			1:50			180	A B C	サイ
13 計画	1:30	2:40	1:30		1:20						120	A B C	サイ
金 実践	1:40	2:40	1:30		1:30		1:20				150	A B C	サイ
14 計画	1:60	2:60	1:60	1:40	1:20						240	A B C	サイ
土 実践	1:60	2:60	1:60	1:40	1:20			1:20		1:20	280	A B C	サイ
15 計画	1:40	2:60	2:40	2:60	1:40						290	A B C	サイ
日 実践	1:40	2:60	2:30	2:60	1:50		1:30			1:20	290	A B C	サイ
計画の合計	220	360	230	150	110		30	40	0	0	1140	ひとこと おまけの やりに勉強して いた。	
実践の合計	300	360	230	150					0	40	1390		

実際の学習計画表



自学おすすめボード

授業の最後に、教科担当者は必ず「自学おすすめボード」を書いて生徒に提示しています。毎日の帰りの会では、その日の「自学おすすめ」を見ながら家庭学習の計画を立てる時間を確保しています。

定期テスト3週間前には、学習計画表作成の時間を設定し、毎日記録して、保護者にも確認をお願いしています。また、担任を中心に状況をチェックし、適宜指導・助言を行い、家庭学習の習慣化と充実を図っています。さらに、学習委員会がクラスごとの学習時間を集計し提示することで「見える化」を図り、学習へ向かう気運づくりに取り組んでいます。